

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和2年3月1日 13時30分～16時)

注意事項

1. 試験問題の数は122問で解答時間は正味2時間30分です。
2. 解答方法は次のとおりです。

(1) 各問題には1から4までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 問題 100 県庁所在地は (例2) 問題 101 県庁所在地はどれか。

どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

100	①	②	③	④
100	①	②	●	④

答案用紙②の場合

100	100
①	①
②	②
③	●
④	④

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

101	①	②	③	④
101	●	②	●	④

答案用紙②の場合

101	101
①	●
②	②
③	●
④	④

記入上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊕ ⊗ ⊙ (解答したことにならない。)

- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- ③ (例 1) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 2) の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 癌とそのリスク因子の組合せで誤っているのはどれか。

1. 胃 癌 ———— 塩・塩蔵物
2. 大腸癌 ———— 肥 満
3. 乳 癌 ———— ヒトパピローマウイルス
4. 食道癌 ———— 喫 煙

問題 2 健康増進法との関連性が低いのはどれか。

1. 健康日本 21
2. 国民健康・栄養調査
3. 受動喫煙対策
4. 長寿医療制度

問題 3 喫煙と肺癌発生の疫学的因果関係の検討で正しい組合せはどれか。

1. 関連の強固性 ———— たばこの煙には様々な発がん物質が含まれる。
2. 関連の一致性 ———— 肺癌発生率は喫煙者が非喫煙者に比べ高い。
3. 関連の時間性 ———— 長期間の喫煙歴が肺癌の発生に先行する。
4. 関連の整合性 ———— 喫煙と肺癌発生の関連は、様々な国の研究で認められる。

問題 4 近年の我が国の死因で最も多いのはどれか。

1. 悪性新生物
2. 心疾患
3. 脳血管疾患
4. 老 衰

問題 5 介護予防対策で有用性が低いのはどれか。

1. がん対策
2. スタンダード・プリコーションの実施
3. 生活習慣病の予防
4. ロコモティブシンドロームの予防

問題 6 食中毒で正しいのはどれか。

1. キノコは食中毒の原因となる。
2. 近年の我が国では黄色ブドウ球菌による件数が最も多い。
3. ポツリヌス菌は感染型の食中毒を起こす。
4. 食品を低温で保存すれば細菌は死滅する。

問題 7 精神保健で正しいのはどれか。

1. 保健所は精神保健福祉センターの指導援助を行う。
2. アルツハイマー型認知症は一般に急激に症状が進行する。
3. 自閉症スペクトラムではコミュニケーションの障害がみられる。
4. 自傷他害のおそれがあり、患者本人の同意がない場合は任意入院が行われる。

問題 8 国民医療費で正しいのはどれか。

1. 健康診断の費用が含まれる。
2. 国民医療費の財源には公費が含まれる。
3. 医科診療医療費のうち大部分は入院医療費が占める。
4. 人口一人当たりの国民医療費が最も高額な年齢階級は45～64歳である。

問題 9 インフルエンザウイルスで誤っているのはどれか。

1. 空気感染する。
2. 気道感染症を引き起こす。
3. 抗原性が容易に変化する。
4. パンデミックの原因となる。

問題 10 消毒方法で誤っているのはどれか。

1. 爪先は手洗いのミスが生じやすい。
2. 皮膚の消毒にフタラールを用いる。
3. 床の消毒に次亜塩素酸ナトリウムを用いる。
4. 手指では機械的清拭法と化学的清拭法がある。

問題 11 二酸化炭素の建築物環境衛生管理基準はどれか。

1. 検出されてはならない
2. 0.001 %以下
3. 0.1 %以下
4. 10 %以下

問題 12 廃棄物処理法に基づく廃棄物の取り扱いで誤っているのはどれか。

1. 産業廃棄物の処理の責任は事業者にある。
2. 家庭で飼っていた動物の死体は一般廃棄物として扱う。
3. 特別管理産業廃棄物の委託処理に管理票(マニフェスト)を使用する。
4. 医療機関において体液に汚染されたガーゼは一般ごみと共に廃棄してよい。

問題 13 ICIDH で能力低下はどれか。

1. 大腿四頭筋の徒手筋力テストが3である。
2. 足関節の背屈可動域がマイナス10度である。
3. 歩行距離が最大50mである。
4. 歩行可能範囲に商店がなく買い物ができない。

問題 14 ICIDH の機能障害で正しいのはどれか。

1. 病気や外傷によりもたらされる。
2. 同じ機能障害を持った人は同じ程度の能力低下を持つ。
3. 下肢切断をした人は歩けないという機能障害を持つ。
4. 下肢切断者に義足を処方することで軽減する。

問題 15 線分二等分テストの結果を図に示す。正しいのはどれか。

1. 右半側空間無視
2. 左半側空間無視
3. 右同名半盲
4. 左同名半盲



問題 16 日常関連動作はどれか。

1. 食事動作
2. 整容動作
3. 洗濯動作
4. 入浴動作

問題 17 脳梗塞患者の頭部 CT 横断像(別冊 No. 1)を別に示す。この患者の症状はどれか。

1. 右片麻痺
2. 左片麻痺
3. 四肢麻痺
4. 対麻痺

別 冊 No. 1
写 真

問題 18 温熱の作用で誤っているのはどれか。

1. 鎮 痛
2. 筋痙縮の緩和
3. 膠原線維の伸張
4. 心拍出量の低下

問題 19 腓骨神経麻痺に用いるのはどれか。

1. 短下肢装具
2. 長下肢装具
3. 両側松葉杖
4. ニーブレース

問題 20 ケーブルシステム及びハーネスを利用し把持動作を行う義手はどれか。

1. 装飾用義手
2. 作業用義手
3. 体内力源義手
4. 体外力源義手

問題 21 職種と用いるリハビリテーションの組合せで適切でないのはどれか。

1. 理学療法士 ———— 運動療法、物理療法
2. 作業療法士 ———— 手芸、工作
3. 臨床心理士 ———— 嚥下機能評価
4. 言語聴覚士 ———— コミュニケーション訓練

問題 22 脳卒中の急性期リハビリテーションで優先度が低いのはどれか。

1. 関節可動域訓練
2. ベッド上動作訓練
3. 高次脳機能訓練
4. 歩行訓練

問題 23 65歳の男性。数年前から安静時の振戦があり、パーキンソン(Parkinson)病の診断を受けている。最近になって歩き始めの一步が出にくくなり、歩き始めると止まれないことがあるため受診した。

正しいのはどれか。

1. 施設入所を勧める。
2. 可及的に安静を取るよう指示する。
3. 関節可動域訓練を主体としたリハビリテーションを行う。
4. 立位歩行訓練を主体としたリハビリテーションを行う。

問題 24 診断へのプロセスとして最初に行うのはどれか。

1. 鑑別診断を行う。
2. 自覚症状を聞く。
3. 臨床検査を行う。
4. 他覚的所見を診察する。

問題 25 重症うっ血性心不全患者の姿勢はどれか。

1. 起坐位
2. 仰臥位
3. 側臥位
4. 腹臥位

問題 26 失調性歩行の症状はどれか。2つ選べ。

1. 足もとを目で確かめながら歩く。
2. 足を足底側に屈曲したまま歩く。
3. ちょこちょこ小刻みに歩く。
4. 動揺しながら歩く。

問題 27 長期の気管支喘息患者でみられる胸郭変形はどれか。

1. 樽状胸
2. 扁平胸
3. 鳩胸
4. 漏斗胸

問題 28 聴診所見で正しいのはどれか。

1. 胸水貯留では声音が増強する。
2. 心膜液貯留では心音が増強する。
3. 急性心膜炎では心膜摩擦音を聴取する。
4. 甲状腺機能亢進症では心音が減弱する。

問題 29 筋肉の所見で誤っているのはどれか。

1. 小脳の疾患では、筋肉に特有な抵抗が減弱している。
2. シャルコー・マリー・トゥース(Charcot-Marie-Tooth)病では、四肢遠位の筋萎縮がある。
3. デュシェンヌ(Duchenne)型筋ジストロフィーでは、四肢近位の筋萎縮がある。
4. パーキンソン(Parkinson)病では、関節を屈曲させると、ある時点で急に抵抗がなくなる。

問題 30 腹部の触診で正しいのはどれか。

1. 胃癌では手で圧迫した時より放した瞬間に強い痛みを訴える。
2. 健常者ではわずかに肝臓の上縁を触知できる。
3. 汎発性腹膜炎では腹壁全体が板のように硬くなる。
4. 胆嚢炎では左季肋部に強い圧痛がある。

問題 31 体温が持続的に高く1℃以上の日内変動があるのはどれか。

1. 弛張熱
2. 稽留熱
3. 波状熱
4. 間欠熱

問題 32 表在感覚はどれか。

1. 位置覚
2. 温度覚
3. 振動覚
4. 2点識別覚

問題 33 顔面神経が関与するのはどれか。

1. 咽頭反射
2. 下顎反射
3. 角膜反射
4. 瞳孔反射

問題 34 突然の腹痛とともに下血(鮮血便)がみられるのはどれか。

1. クローン(Crohn)病
2. 過敏性腸症候群
3. 虚血性大腸炎
4. 潰瘍性大腸炎

問題 35 逆流性食道炎で正しいのはどれか。

1. 繰り返す嘔吐が原因である。
2. 胃酸の分泌を抑える治療を行う。
3. 日常の注意として臥床前に飲食するようにする。
4. ヘリコバクター・ピロリ菌の感染によって生じる。

問題 36 肺結核で正しいのはどれか。

1. 結核菌は空気感染する。
2. 結核菌 PCR 検査で陰性となる。
3. ツベルクリン反応は陰性となる。
4. インターフェロン γ 遊離試験は BCG 接種で陽性となる。

問題 37 急性心筋梗塞で誤っているのはどれか。

1. 心電図検査で ST 上昇を認める。
2. 血液検査でトロポニンの低下を認める。
3. 冠動脈造影検査で冠動脈の閉塞を認める。
4. 心エコー検査で心室の壁運動の低下を認める。

問題 38 鉄欠乏性貧血の症状でないのはどれか。

1. 頻 脈
2. 異食症
3. ばち指
4. 易疲労感

問題 39 糖尿病の合併症として生じる神経障害でないのはどれか。

1. 手指振戦
2. 振動覚低下
3. 起立性低血圧
4. 膝蓋腱反射消失

問題 40 関節リウマチで障害されやすいのはどれか。

1. 頸椎環軸関節
2. 遠位指節間関節
3. 仙腸関節
4. 胸鎖関節

問題 41 腎糸球体を病変の主体とするのはどれか。

1. 間質性腎炎
2. ネフローゼ症候群
3. 腎盂腎炎
4. 複雑性膀胱炎

問題 42 筋力低下が数日から数週間で進行するのはどれか。

1. ギラン・バレー(Guillain-Barré)症候群
2. ハンチントン(Huntington)病
3. メニエール(Meniere)病
4. レヴィ(Lewy)小体病

問題 43 後天性免疫不全症候群(AIDS)で正しいのはどれか。

1. ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染後、数日で発症する。
2. 進行すると日和見感染症を合併する。
3. CD8陽性T細胞数が著しく減少する。
4. 母子間感染は起こらない。

問題 44 65歳の男性。50歳時に高血圧を指摘されたが放置していた。他に特記すべき既往歴はなく、下肢静脈瘤もない。30分前に突然、前胸部および背部の冷汗を伴う激しい疼痛が出現し、その後も持続している。右橈骨動脈で強く脈拍を触れるが、左橈骨動脈では脈拍を触知しない。

可能性が高いのはどれか。

1. 自然気胸
2. 急性心筋梗塞
3. 肺血栓塞栓症
4. 急性大動脈解離

問題 45 56歳の女性。8か月前から徐々に歩行時の疲れやすさを自覚し、1か月前から階段を昇れなくなり、洗髪時に腕を挙げるのが難しくなった。胸腹部に異常を認めない。上眼瞼部に浮腫性の淡い紫色の紅斑を認める。血液検査でクレアチンキナーゼ(CK)が1870 U/L(基準 30～140)であった。

最も考えられるのはどれか。

1. 結節性多発動脈炎
2. 皮膚筋炎
3. 強皮症
4. ベーチェット(Behçet)病

問題 46 熱傷で誤っているのはどれか。

1. 低温熱傷は難治性である。
2. 成人の熱傷面積概算には「9の法則」を用いる。
3. 皮膚損傷の面積によってⅠ～Ⅲ度に分類される。
4. 広範囲熱傷患者のストレス潰瘍をカーリング(Curling)潰瘍という。

問題 47 外科的感染で誤っている組合せはどれか。

1. 丹毒 ————— A群溶連菌
2. ガス壊疽 ————— ウェルシュ菌
3. 化膿性骨髓炎 ————— 黄色ブドウ球菌
4. IVH カテーテル感染 ————— アスペルギルス

問題 48 腫瘍で正しい組合せはどれか。

1. 皮膚癌 ————— 腺癌
2. 大腸癌 ————— 扁平上皮癌
3. 卵巣転移 ————— シュニッツラー転移
4. 機能性腫瘍 ————— インスリノーマ

問題 49 血液分布異常性ショックを起こしうるのはどれか。

1. 熱傷
2. 肺塞栓症
3. 心タンポナーデ
4. アナフィラキシー

問題 50 輸血で正しいのはどれか。

1. 血漿交換は劇症肝炎に有効である。
2. 新鮮血輸血では凝固因子の補給ができない。
3. 保存血輸血では血小板の補給が期待できる。
4. 血小板輸血は循環血漿量の補充に用いる。

問題 51 消毒と滅菌で誤っているのはどれか。

1. オートクレーブは高圧蒸気滅菌装置である。
2. グルタラールは粘膜に対して刺激性が弱い。
3. クロルヘキシジンはMRSAに対して有効である。
4. ポビドンヨードは蛋白質の存在下で殺菌力が低下する。

問題 52 手術法で正しいのはどれか。

1. 感染創では一次縫合を行う。
2. 血管吻合は内翻縫合で行う。
3. 皮膚切開はランゲル皮膚割線と平行に行う。
4. 神経縫合はアルベル・ランベール縫合で行う。

問題 53 全身麻酔の導入で正しいのはどれか。

1. 患者の不安を除去し鎮静を図る。
2. 抗コリン剤投与は気道分泌を促す。
3. 筋弛緩薬は気管内挿管を困難にする。
4. 栄養管理のため直前に経口摂取を行う。

問題 54 外出血で誤っているのはどれか。

1. 鼻出血
2. 肺結核
3. 皮下出血
4. 消化性潰瘍

問題 55 腹部外傷で腹腔内遊離ガス像を認めるのはどれか。

1. 肝損傷
2. 腎損傷
3. 脾損傷
4. 消化管穿孔

問題 56 49歳の男性。3年前に脳ドックで脳動脈瘤を指摘されていた。今朝、突然頭の中が爆発するような激しい頭痛が出現した。

考えられるのはどれか。

1. 脳梗塞
2. 脳内出血
3. 硬膜外血腫
4. くも膜下出血

問題 57 異常歩行の組合せで誤っているのはどれか。

1. 鶏歩 ————— 腓腹筋麻痺
2. トレンデレンブルグ歩行 ——— 先天性股関節脱臼
3. 逃避歩行 ————— 腰椎椎間板ヘルニア
4. 分回し歩行 ————— 脳血管障害

問題 58 スポーツ中の突然死に関連しないのはどれか。

1. 脳しんとう
2. 心臓しんとう
3. 肥大型心筋症
4. 慢性硬膜下血腫

問題 59 関節リウマチの手指変形と原因となる関節の組合せで誤っているのはどれか。

1. 尺側変位 ————— 手根中手関節
2. 下垂指変形 ————— 遠位橈尺関節
3. ボタン穴変形 ————— 近位指節間関節
4. スワンネック変形 ———— 中手指節関節

問題 60 原発性骨粗鬆症で正しいのはどれか。

1. 石灰化の障害によって骨が弱くなる疾患である。
2. やせが危険因子の一つである。
3. 若年者ではみられない。
4. 血清カルシウムは低値である。

問題 61 常染色体劣性の遺伝形式を示すのはどれか。

1. マルファン(Marfan)症候群
2. モルキオ(Morquio)病
3. 多発性神経線維腫症
4. 軟骨無形成症

問題 62 静脈血栓塞栓症のリスクが低いのはどれか。

1. 上肢手術
2. 人工股関節手術
3. 大腿骨骨折手術
4. 多発外傷

問題 63 肩腱板断裂の慢性期所見で正しいのはどれか。

1. 上肢の挙上が不可能である。
2. 肩関節の回旋拘縮がある。
3. 肩峰骨頭間距離が広がる。
4. 夜間痛がある。

問題 64 フォルクマン(Volkmann)拘縮で生じない変形はどれか。

1. 前腕回内
2. IP 関節屈曲
3. 母指橈側外転
4. 第2～5 MP 関節過伸展

問題 65 スポーツによる骨盤周囲の裂離骨折と起因筋腱の組合せで正しいのはどれか。

1. 上前腸骨棘 ————— 大腿直筋
2. 下前腸骨棘 ————— ハムストリングス
3. 大腿骨大転子 ————— 大殿筋
4. 大腿骨小転子 ————— 腸腰筋

問題 66 前十字靭帯損傷の保存的治療後、歩行時に向きを変えたら膝くずれを起こし、膝関節が伸展できなくなった。病態で正しいのはどれか。

1. 膝蓋骨脱臼
2. 半月板嵌頓
3. 膝蓋腱断裂
4. 膝関節内骨折

問題 67 42歳の男性。ピロン骨折後、半日経過して創部疼痛に加え足に感覚障害が生じてきた。

この感覚障害の部位で正しいのはどれか。

1. 足底の内側
2. 前足部の内側
3. 母趾・第2趾間の背側
4. 後足部の外側

問題 68 骨折の固有症状はどれか。

1. 圧痛
2. 皮下出血斑
3. 転位
4. 機能障害

問題 69 手掌橈側に感覚障害を生じるのはどれか。

1. 筋皮神経損傷
2. 橈骨神経損傷
3. 正中神経損傷
4. 尺骨神経損傷

問題 70 周径の測定部位で誤っているのはどれか。

1. 上腕周径は上腕の最も太い部位
2. 前腕周径は前腕の最も太い部位
3. 大腿周径は大腿の最も太い部位
4. 下腿周径は下腿の最も太い部位

問題 71 柔道整復施術の対象となるのはどれか。

1. 遠位骨片が外旋している上腕骨骨幹部骨折
2. 腋窩動脈損傷を伴った肩関節脱臼
3. 足先に感染創のある下腿打撲
4. 偽関節となった第5中足骨骨折

問題 72 骨リモデリングに関与しないのはどれか。

1. 年齢
2. 転位の形状
3. 骨折部位
4. 疼痛の程度

問題 73 急性塑性変形で正しいのはどれか。

1. エックス線で骨折線がみられる。
2. 海綿骨の微細損傷である。
3. 仮骨形成がみられない。
4. 自家矯正が期待できない。

問題 74 小児の骨で正しいのはどれか。

1. 肥大軟骨層で離開しやすい。
2. 類骨はコラーゲンが少ない。
3. 石灰化密度が高い。
4. 骨膜が薄い。

問題 75 高齢者骨折の続発症で起こりにくいのはどれか。

1. 褥瘡
2. 誤嚥性肺炎
3. 尿路感染
4. 外傷性皮下気腫

問題 76 骨折の治癒過程で正しいのはどれか。

1. 炎症期には類骨に石灰塩が沈着する。
2. 仮骨形成期には成熟した緻密質が作られる。
3. 仮骨硬化期には線維素網が作られる。
4. リモデリング期には力学的に有利な形態に順応する。

問題 77 脱臼の病態と発生部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 反復性脱臼 ———— 膝関節
2. 随意性脱臼 ———— 第2指MP関節
3. 拡張性脱臼 ———— 股関節
4. 恒久性脱臼 ———— 肘関節

問題 78 関節部の損傷で正しいのはどれか。

1. 大部分が直達外力によるものである。
2. 関節円板障害は足関節にみられる。
3. 捻挫は靭帯損傷として認識される。
4. 顎関節脱臼は関節包断裂を認める。

問題 79 RICE処置でCの目的はどれか。

1. 患部の安静
2. 低酸素状態の抑制
3. 循環の改善
4. 浮腫の抑制

問題 80 整復位が良肢位となるのはどれか。

1. 上腕骨外科頸骨折
2. 上腕骨外顆骨折
3. 肘頭骨折
4. 橈骨遠位端伸展型骨折

問題 81 電気療法で正しいのはどれか。

1. 表在性の疼痛には低い周波数が適している。
2. 神経を興奮させることができる。
3. 刺激強度は筋収縮が得られるまでとする。
4. マイクロ波は電気療法の一つである。

問題 82 骨折治癒を促進する力学的因子はどれか。

1. 屈曲力
2. 牽引力
3. 剪断力
4. 圧迫力

問題 83 疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。

1. 頭蓋底骨折 ————— ブラックアイ
2. 鼻骨骨折 ————— バトル徴候
3. 顎関節症 ————— ベル現象
4. 頸椎棘突起骨折 ————— ホルネル徴候

問題 84 下位胸椎椎体圧迫骨折で正しいのはどれか。

1. 椎体後方が圧迫変形する。
2. 多くの場合徒手整復を必要とする。
3. 棘突起部に叩打痛を認める。
4. 脊髄損傷を合併しやすい。

問題 85 腰椎肋骨突起骨折で誤っているのはどれか。

1. 第3腰椎に多い。
2. 脊柱の運動制限がみられる。
3. 患側股関節は内転位をとる。
4. 直達外力では腎損傷の危険性が高い。

問題 86 鎖骨骨折で保存療法が最適となるものはどれか。

1. 烏口鎖骨靭帯の断裂したもの
2. 楔状骨片の直立したもの
3. 粉碎骨折のあるもの
4. 小児で上方凸変形のあるもの

問題 87 肩甲骨骨折の分類で誤っているのはどれか。

1. 頸部骨折
2. 関節突起骨折
3. 下角骨折
4. 関節窩骨折

問題 88 関節内骨折はどれか。2つ選べ。

1. コーレス(Colles)骨折
2. バートン(Barton)骨折
3. 橈骨遠位骨端線離開
4. ショウファー骨折

問題 89 直達外力で起こりやすいのはどれか。

1. 上腕骨内側上顆骨折
2. 橈骨近位端部骨折
3. 尺骨骨幹部骨折
4. 第1中手骨基部骨折

問題 90 ベネット(Bennett)骨折で誤っているのはどれか。

1. 第1中手指節関節の脱臼骨折である。
2. 遠位骨片は橈側に転位する。
3. 外観は内転屈曲変形を呈する。
4. 母指の内外転運動が不能である。

問題 91 以下に示す徒手検査が陽性であったとき大腿骨小転子骨折を疑うのはどれか。

1. パトリックテスト
2. トーマステスト
3. ニュートンテスト
4. ルドロフテスト

問題 92 膝蓋骨骨折で誤っているのはどれか。

1. 介達外力では横骨折を呈する。
2. 骨片は離開転位する。
3. 転位の軽度なものは絆創膏を用いて固定する。
4. 固定は屈曲60度とする。

問題 93 関節動揺が出現しないのはどれか。

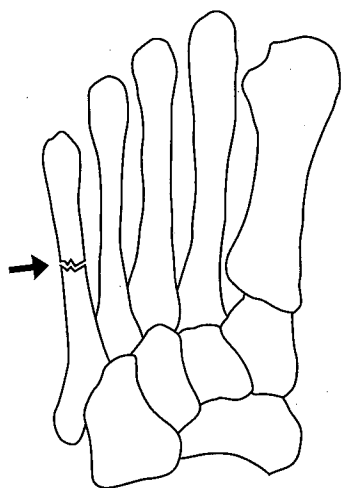
1. 脛骨顆部骨折
2. 脛骨顆間隆起骨折
3. 脛骨粗面骨折
4. 腓骨頭骨折

問題 94 踵骨体部骨折で正しいのはどれか。

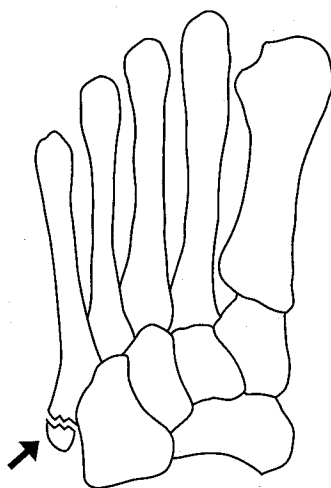
1. 凹足変形を呈する。
2. 爪先立ちは可能である。
3. ベーラー角は減少する。
4. 皮下出血斑の出現はわずかである。

問題 95 足根骨前部と中足骨部の図を示す。短腓骨筋が関与したと考えられるのはどれか。

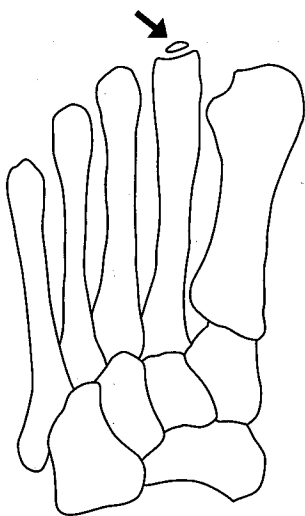
1. a
2. b
3. c
4. d



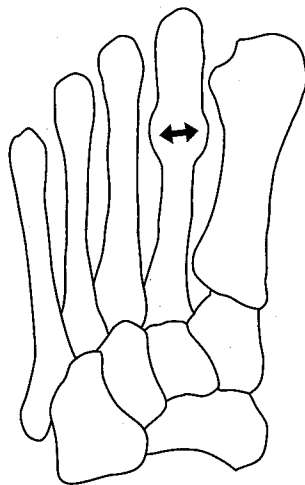
a



b



c



d

問題 96 顎関節前方脱臼で正しいのはどれか。

1. 関節円板は関節窩より逸脱する。
2. 下顎頭は関節結節の後方に位置する。
3. 外側翼突筋は弛緩する。
4. 顔面神経麻痺を合併する。

問題 97 肩関節脱臼の発生頻度が高い理由で誤っているのはどれか。

1. 骨頭に対して関節窩が深い。
2. 各方向に広い可動域を持つ。
3. 関節の安定性は筋力に依存する。
4. 肩関節は突出し外力を受けやすい。

問題 98 股関節後方脱臼の合併症で誤っているのはどれか。

1. 大腿骨頭壊死
2. 大腿骨頸部骨折
3. 大腿神経損傷
4. 外傷性股関節炎

問題 99 膝関節前方脱臼で正しいのはどれか。

1. 膝関節屈曲位で発生する。
2. 不全脱臼となることが多い。
3. 血管損傷に注意する。
4. 膝蓋骨骨折を合併する。

問題 100 上肢の軟部組織損傷で誤っているのはどれか。

1. 上腕二頭筋長頭腱損傷は結節間溝部での断裂が多い。
2. 動揺性肩関節の検査にサルカス徴候がある。
3. 内側型野球肘は遅発性尺骨神経麻痺を生じる。
4. SLAP 損傷は上腕三頭筋長頭の拘縮を合併する。

問題 101 五十肩の病期分類にないのはどれか。

1. 炎症期
2. 拘縮期
3. 萎縮期
4. 解氷期

問題 102 肘部管症候群の症状で正しいのはどれか。

1. 感覚障害はない。
2. フローマン徴候は陽性となる。
3. 下垂指が出現する。
4. 母指対立筋の筋力低下が生じる。

問題 103 ド・ケルバン (de Quervain) 病で正しいのはどれか。

1. 背側腱第 2 区画部の狭窄性腱鞘炎である。
2. 両側の発症は少ない。
3. 長母指伸筋腱部に圧痛を認める。
4. 単純エックス線検査で異常所見を認める。

問題 104 幼児に多いのはどれか。

1. 鼠径部痛症候群
2. 大腿骨頭すべり症
3. 単純性股関節炎
4. 大腿骨頭壊死症

問題 105 大腿四頭筋の肉ばなれで正しいのはどれか。

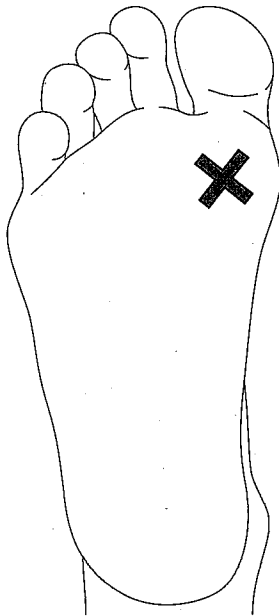
1. 求心性収縮で発生する。
2. 中間広筋に多発する。
3. 完全断裂では陥凹を触れる。
4. 受傷直後から皮下出血斑を認める。

問題 106 下腿コンパートメント症候群で誤っているのはどれか。

1. 腫脹が著明である。
2. 安静時痛がある。
3. 足関節の屈曲運動ができる。
4. 動脈の拍動が触知できる。

問題 107 圧痛部を別に示す。考えられる疾患はどれか。

1. フライバーグ(Freiberg)病
2. 第1ケーラー(Köhler)病
3. モートン(Morton)病
4. 種子骨障害



問題 108 15歳の男子。柔道の試合中に強引に背負い投げをかけた際、肩関節外転外旋が強制され肩関節を脱臼した。初めての脱臼だという。

整復固定後、この患者への説明として適切なものはどれか。

1. 「自分で固定を外して入浴可能です」
2. 「明日から肩の可動域訓練を行います」
3. 「競技復帰は3週間とします」
4. 「再発する可能性があります」

問題 109 2歳の男児。公園の滑り台から転落し肩部を衝いたため来所した。患側の肩は下垂し、上肢は挙上不能。両腋窩を持って抱き上げたところ号泣した。

最も考えられるのはどれか。

1. 上腕骨顆上骨折
2. 肘内障
3. 鎖骨骨折
4. 橈骨遠位端部骨折

問題 110 13歳の男子。転倒した際に肘関節伸展位で左手を地面に衝いて受傷した。肘関節内側に著明な腫脹と皮下出血斑を認める。同部に限局性圧痛を認め、肘関節の屈伸運動障害もみられる。受傷時の単純エックス線写真(別冊 No. 2)を示す。

続発症で最も考えられるのはどれか。

1. 前腕回外制限
2. 肘関節屈曲障害
3. 外反肘変形
4. 尺骨神経麻痺

別 冊 No. 2
写 真

問題 111 20歳の男性。サッカーで相手選手と接触し、地面に左手の手掌を強く衝き、手関節部に強い疼痛を感じた。当日は自分で患部を冷やし、テーピングで固定した。1週経過しても症状が改善されなかったため来所した。初検時、手関節部の腫脹は著明で、背屈制限、母指および示指からの軸圧痛、スナッフボックス部の圧痛が認められた。専門医の診断を仰いだところ、骨折と診断された。単純エックス線写真(別冊 No. 3)を示す。

この骨折の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 受傷直後のエックス線像で骨折を確認できないことがある。
2. 手関節部の変形が著明である。
3. 固定期間は比較的短期間である。
4. 骨癒合が遷延しやすい。

別 冊 No. 3 写 真

問題 112 30歳の男性。屋根の修理中バランスを崩し、落下した際に踵を強打し負傷した。腫脹は踵骨部に強く、足関節まで波及している。限局性圧痛も著明である。また疼痛のため、患側肢で立つことは出来ないが、足関節の屈伸運動は可能である。

続発症として起こりにくいのはどれか。

1. 慢性浮腫
2. ズデック(Sudeck)骨萎縮
3. 無腐性骨壊死
4. 腓骨筋腱鞘炎

問題 113 33歳の男性。3mの塀から飛び降りて受傷した。受傷部の写真(別冊 No. 4)を別に示す。

考えられるのはどれか。

1. 内果裂離骨折
2. 三角靭帯断裂
3. 距骨体部骨折
4. ショパール関節脱臼

別 冊 No. 4
写 真

問題 114 21歳の男性。柔道の稽古中、左足関節を内反し負傷した。翌日、足関節外側部の痛みが強いため来所した。写真(別冊 No. 5)に示す部位に著明な圧痛と腫脹を認める。前方引き出しテストは陰性であった。

考えられるのはどれか。

1. 前距腓靭帯損傷
2. 三角靭帯損傷
3. リスフラン関節損傷
4. 踵骨前方突起骨折

別 冊 No. 5
写 真

問題 115 18歳の男子。野球練習中に右中指を突き指し受傷した。近医を受診したところ、骨折を指摘された。受傷時の単純エックス線写真(別冊 No. 6)を示す。

正しいのはどれか。

1. 骨片がみられるためⅡ型である。
2. DIP 関節を過伸展位で固定する。
3. 固定期間は8～10週とする。
4. 掌側脱臼に注意する。

別 冊 No. 6 写 真

問題 116 12歳の男児。野球のピッチャーである。毎日100球自主練習をし、週3回少年野球に参加している。1か月前から投球時に右肩部から上腕にかけて痛みが出現し、最近では日常生活でも痛みを感じるようになった。肩関節全体に痛みを訴えるが明らかな腫脹は認めない。大結節下方外側に圧痛と熱感がみられた。

考えられるのはどれか。

1. 腱板損傷
2. SLAP 損傷
3. 骨端線離開
4. 化膿性関節炎

問題 117 25歳の男性。草野球の試合中にボールが右示指の指尖に当たり、PIP関節が過伸展強制され受傷した。PIP関節部の自発痛と腫脹が著明である。PIP関節の運動は不能であるが、DIP関節の屈曲は可能である。受傷時の単純エックス線写真(別冊 No. 7)を示す。

正しいのはどれか。

1. 掌側板の損傷を伴っている。
2. ボタン穴変形の危険性がある。
3. 深指屈筋腱の断裂がある。
4. PIP関節伸展位での固定が必要である。

別 冊 No. 7
写 真

問題 118 20歳の男性。自転車のタイヤ交換のためレバーを強く握った際、左示指 MP 関節部に突然の痛みを自覚した。以降、MP 関節の完全伸展が不能となり来所した。初検時、関節部に軽度の腫脹と中手骨頭橈側に圧痛を認めた。示指 MP 関節は -30 度まで伸展は可能であるが、それ以上の他動的伸展は不能であった。外観写真(別冊 No. 8)を別に示す。他指の関節運動は正常である。

最も考えられるのはどれか。

1. 示指基節骨が背側に転位している。
2. MP 関節内に掌側板が嵌入している。
3. 橈側側副靭帯が中手骨頭に乗りあげている。
4. 指伸筋腱が橈側に脱臼している。

別 冊 No. 8
写 真

問題 119 20歳の男性。剣道部に所属している。半年前から竹刀を振る際に右手関節の違和感を自覚していた。その後、徐々に疼痛が出現したため来所した。手関節背側に腫脹と圧痛および可動域制限と握力低下がみられた。手指の運動痛はない。写真(別冊 No. 9)に圧痛部位を示す。

考えられるのはどれか。

1. 月状骨軟化症
2. 月状骨脱臼
3. 尺骨茎状突起骨折
4. 長母指伸筋腱鞘炎

別 冊 No. 9
写 真

問題 120 50歳の女性。右手関節部の疼痛があり、ボタンかけが不自由になり来所した。手関節部に軽度の腫脹および圧痛を認め、ファーレンテスト陽性、フィンケルスタインテスト陰性。Perfect Oの不整がみられた。

感覚障害がみられないのはどれか。

1. 示 指
2. 中 指
3. 環 指
4. 小 指

問題 121 17歳の男子。ハードル走の選手である。最近、練習中に右股関節の引っかかりを感じるようになった。関節に腫脹や疼痛はなく明らかな可動域制限もみられないが、股関節内転位で屈伸すると股関節部外側で嚙音が聴取された。外傷の既往はない。

最も考えられるのはどれか。

1. 股関節唇の断裂
2. 大転子滑液包炎
3. 中殿筋の筋力低下
4. 大腿筋膜張筋の緊張増加

問題 122 30歳の男性。3か月前からランニングを始めた。左膝の運動痛が出現したため来所した。膝関節の外側に軽度腫脹がみられた。膝蓋跳動は陰性であった。膝関節屈曲位で大腿骨外顆よりやや近位を圧迫しながら膝関節を伸展させると疼痛が再現された。

考えられるのはどれか。

1. 鵞足炎
2. 膝蓋下脂肪体炎
3. 大腿四頭筋腱炎
4. 腸脛靭帯炎

